



# 七里小だより

## 12月号

さいたま市立七里小学校  
令和6年11月30日

『今年もお世話になりました 来年もよろしく願いいたします』

さいたま市立七里小学校  
校長 舘 和 成

2024年も残すところあとひと月となりました。12月は「師走」とも言い、師が走ると書きますが、この「師」はお坊さんであるという説があります。昔は年末に先祖供養をする家が多かったため、いつもは落ち着いている師（お坊さん）でも走り回るほど忙しい月だったということで「師走」と言われるようになったそうです。学校では、先生たちが学期末で忙しい時期になります。子どもたちは、もうすぐ冬休みやクリスマス、お正月がくるということで、楽しい気持ちになる子が多いと思います。大人が忙しい時期に、子どもたちへの指導、支援が疎かにならないよう、教職員一丸となり、共通理解をもって、子どもたちに目をかけ、声をかけていきます。どの子も、2学期のよい締めくくりをして、冬休みを迎えられるように、教育活動を進めてまいります。

12月は、年末そして学期末でもあることから、先日のお話朝会で、子どもたちに整理整頓についてお話をしました。整理整頓のコツは、①「出す」②「分ける」③「しまう」です。子どもたちにとって片付けたい場所には、引き出しや、おもちゃ箱、本棚などがあると思います。まず最初に片付けたい場所の物を一度全部出します。そして、必要な物、そうでない物、使う物、使わない物、そこにはしまわない物というように分けていきます。最後に必要な物、使う物だけをしまします。そうするとすっきりと整理整頓することができます。使うために出した物は、使い終わったらすぐに元の場所にしまうことも大切です。そうすると、出しっぱなしになったり、なくなったりしなくて済みます。この方法は、物の整理だけではなくて、心の整理にも使うことができます。例えば、2学期どんなことがあったかなと全部思い出してみます。学校での授業や行事、友達とのこと、家族で出かけたことなど、子どもたちは、いろいろなことを思い出します。次に、楽しかったこと、一生懸命やって上手くいったこと、もっと頑張れたなと思うことなど、思い出したことを分けます。最後に楽しかったことや上手くできたことはよい思い出として心にしまします。もっと頑張ればよかったなと思うことなどは、次からどうすればよいかよく考え、自分にとって大切なことを心にしまします。そうすると心をすっきりと整理整頓することができます。子どもたちは、1年間でいちばん長い2学期、学習に行事、校外学習などで、たくさんを経験し、実りのある2学期とすることができました。たいへんよく頑張りました。年末であり学期末となるこの時期に、身の回りも心も整理整頓し、新しい目標を立てて新年を迎え、3学期も健康や安全に気を付けて、元気に過ごしてほしいと思います。

保護者の皆様には、11月の個人面談で、お子様の2学期の学習や生活についてお伝えさせていただきました。御多用の中、御来校いただきありがとうございました。12月、そして3学期も引き続き、質問や心配なことがありましたら、学校まで御連絡ください。また、お子様の普段の様子を学校に見に来ていただくことも可能ですので、その際は職員室までお声掛けください。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今年も1年間、本校教育活動への御理解、多大なる御支援、御協力を賜りましたこと感謝申し上げます。これから益々寒さが厳しくなってきますが、お体に気を付けてお過ごしいただき、新しい年、2025年も七里小学校の子どもたち、教職員共々、どうぞよろしく願いいたします。

次回の学校だよりは、1月7日（火）より始まる3学期当初に発行いたします。